

2019

JA IBARAKIMINAMI REPORT

半期開示



2019年度 半期開示ディスクロージャー

1 金融再生法開示債権(単体)

(単位：百万円)

債権区分	2019年7月末	2019年1月末	増減
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	299	278	21
危険債権	31	33	▲2
要管理債権	0	0	0
正常債権	17,216	17,152	64
合計	17,547	17,464	83

2 単体自己資本比率(新BIS基準適用)

2019年7月末	2019年1月末
10.52%	10.66%

3 主要勘定の状況

(単位：百万円)

区分	2019年7月末	2019年1月末	2018年7月末
貯金	99,511	100,118	100,450
貸出金	17,526	17,443	17,185
預け金	76,460	77,117	78,220
有価証券	6,121	5,906	5,811

4 有価証券等時価情報

【有価証券】

(単位：百万円)

種類	2019年7月末			2019年1月末		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
売買目的	0	0	0	0	0	0
満期保有目的	99	99	0	99	99	0
その他	5,695	6,021	326	5,495	5,806	311
合計	5,794	6,121	326	5,594	5,906	311

注記

- (1) 7月末の有価証券の時価は7月末日における市場価格等に基づく時価としています。
- (2) 取得価額は償却原価法適用前、減損処理前のものです。

5 地域貢献活動

(1) 地域貢献の全般に関する事項

当JAは、つくばみらい市・取手市・守谷市の3市と龍ヶ崎市の一部を事業区域とし、農業者や、地域の皆さまが組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営する協同組織であり、地域農業振興に資する地域金融機関です。

当JAの資金は、組合員をはじめとする皆さまからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉としており、資金を必要とする組合員や地域の皆さまに融資し、農業や暮らし、事業などのお手伝いをさせていただいています。また地方公共団体などにもご利用いただいています。

当JAは、地域の一員として、農業の発展と心豊かな地域社会の実現に向け、事業を展開しています。

また、JAの総合事業を通じて各種金融機能・サービスなどを提供するだけでなく、地域の協同組合として、農業や自然・環境や文化・健康や福祉など、助け合いを通じた社会貢献に努めています。

(2) 地域からの資金調達の状況（2019年7月末）

組合員をはじめ地域の皆さまからお預かりした貯金の残高は、99,511百万円、（うち定期貯金の残高は、61,030百万円）です。現在、会員制定期積金として1つの会があり、会員を募集しています。

① ゴルフ友の会

年1回、会員が集いゴルフ大会を開きます。青空の下、楽しくプレイしましょう。

(3) 地域への資金供給の状況（2019年7月末）

組合員をはじめ地公体への貸出金の残高は、17,526百万円です。

当JAは地域金融機関として、地域社会の発展と豊かな暮らしの実現に貢献することを使命と考え、地公体事業資金や個人向け「住宅ローン」「マイカーローン」「教育ローン」などの融資に積極的に対応しています。

特に農業関係では、農業経営に必要な資金の提供として「農業経営拡大資金」「新認定農業者育成特別資金」等をご用意しています。

(4) 文化的・社会的貢献に関する事項



◇ 食と農に理解を

いばらきコープと、産地交流「あぜ道交流会（田植え編）」を開きました。

30家族、合計87人の参加者が、田植えを通じて食と農の大切さなどを学びました。



◇ 新入学児童に交通安全帽を贈る

地域住民の方が健康で安心して暮らせるための地域貢献活動の一環として、新入学児童に交通安全帽子を贈りました。今年度は、当JA管内で約2,200個を配りました。



◇ 家族でジャガイモ収穫

JA女性部が、つくばみらい市川崎の約10畝の畑で、ジャガイモの収穫イベントを開きました。たくさんの家族が参加し、収穫体験を通じて、食と農に対する理解を深めました。



◇ デイサービスが好評

JA女性部「いなほ会」が開くミニデイサービスが好評です。歌や踊りに手芸、体操、紙芝居、季節感を重視したゲームなどが人気です。毎月約100人の高齢者が、心待ちにしています。

